○熊野神社

昔、村の若者が、薪を伐るために深い谷に入つていたところ、不意におそろしい獣に追われ逃げ廻つたが、全く逃げ場を失いもうだめだとあきらめた時、突然一匹の熊があらわれ、その異獣とたたかい始めた。男は犬の助けとばかり家に逃げ帰つたが、たたかいが気にかかり村人を大勢ともなつて、おそるおそるそのところにいつてみたら、熊がたおれていた。若者は熊のため命を救つてもらつたのだと、熊の霊をてあつく祀つた。それが現在の熊野神社であるという。

（峯吉川）